

2020年度

幼保連携型認定こども園 YMC A保育園・おひさま分園学校評価
記録

日時：2021年2月6日（土）10：00～11：00

場所：幼保連携型認定こども園 YMC A保育園 2階つき

出席予定者：保護者3名 園長 主幹保育教諭

1. あいさつ・主旨説明(評価のフィードバック方法) (園長)

2. 出席者紹介

3. 学校評価

2020年度 学校（こども園）評価

1) 園の願い（理念・使命、保育の方針）説明 (主幹保育教諭)

2) 意見交換

- ・園での子ども（乳児）の様子が1日1日丁寧に教えてくれて嬉しい。違うクラスの先生も声をかけてくれる。
- ・たくさんの園児（乳児）がいる中で、必ず子どものことを親にフィードバックしてくれるのが嬉しい。
- ・コロナ禍でどのように遊んでいるか？不安であったが、園の様子や遊びの内容、ほめ方、しかり方まで教えてくれる
- ・乳児から幼児になる際に、園の様子が、児童数が多くなり、それまでと変わることギャップがある。聞きたいことは、親から先生を捕まえて聞いた方がいい。
- ・異年齢はとてもよい。自分よりも下の子、上の子がいて、一緒に過ごすことが子どもの成長につながっている。
- ・ひらがなや数字を学ばなくても、遊びで覚えているし、返事を書かなければ！と思うことで必死に字を覚えている。親の不安もあるので、もう少し時期を早めるのも一つの方法かもしれない。
- ・コロナ禍で給食を保護者がたべられなかったのが残念。
- ・写真が幼児になると生活写真がなくて、集合写真になる。何気ない写真や日常の様子の写真があるといい。クラス中に撮影し、個々人の撮影の枚数を点検しながらするのは、先生方は大変だと思うのでできる範囲で。
- ・YMCAトレーナーの貸し出しがあればいい。着る機会があまりないことと、大きくなるので、5歳児になれば、身体も大きくなり、卒園も近くなり躊躇するので。
- ・DVDの今年の撮影の画質他は変えて欲しい、あとレンタル期間を3泊4日に延ばせないだろうか？
- ・ペーパータオルの材質を柔らかいものにしてほしい。手に傷が…少し硬い。
- ・保育園の前の道路がよく車が通り危ない。交通制限などできないだろうか？
- ・バディに関して、もう少しメンバーの交代の機会を増やしてはどうか？また3歳児が選ぶ方法も検討が必要では。

2020年度

幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園 学校（こども園）評価
記録

日時：2021年1月16日（土）11：00～12：00

場所：幼保連携型認定こども園 西神戸YMCA保育園 2階

出席予定者：保護者：4名 園長 主幹保育教諭

1. あいさつ・主旨説明（評価のフィードバック方法） （園長）

2. 出席者紹介

3. 学校評価

1) 園の願い（理念・使命）説明 （主幹保育教諭）

2) 意見交換

- ・午後からのテラスでの縄跳び等、身体的な動きを有する午後からの活動があってほしい。運動量をもう少しあってもいいかと思います。
- ・ゆり組は、2泊3日のキャンプ、雪遊びをととても楽しみにしている。コロナ禍で1年が経過するが、来年は代替の活動の他、今年の評価を生かした計画をお願いしたい。
- ・卒園式が、平日に行われるが、土曜日に変更できないか。
- ・離乳食が食べられないときに、本人の食べられる食材を別で調達してくれた。本当に個々人に応じた配慮があってありがたい。
- ・2020年4月の緊急事態宣言で、他は職種を限定した受け入れであったが、YMCAはそれとは異なり、職種関係なく保育を受けて下さったことは本当に有難かった。
- ・引っ掻きや噛みつき等があっても、「誰と誰がした」ということなく、園が責任を引き受けてくれる姿勢が、小学校の保護者同士の解決と違い、とても有難いし、関係を作りやすい。
- ・劇の配役を決めるにあたり、「本当にその役をしたいの？」と引っ込み思案の性格の子どもを理解して個々に配慮してくれたことが本当に良かった。
- ・バディの子どもと一緒にいるだけで、親が教えない箸の持ち方を覚えてきた。異年齢のクラスは素晴らしいと思う。
- ・バディを決めるにあたり、上の年齢の子どもも「お世話をしたい」子どもがいる。下の子は「憧れ」で一緒になりたい子もいる。
- ・先生がマッチングするのは、上手くいかないときに子どもが、責任転嫁する理由となるので、子どもが相談して決めて、いろんな子とペアになるようにできれば。

幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園

2020年度 学校（こども園）評価 記録

日 時：2021年3月5日（金）16：00～17：00

場 所：幼保連携型認定こども園 神戸学園都市YMCAこども園 2階

出席者：保護者4名 園長 主幹保育教諭1名

1. ごあいさつ・主旨説明 （園長）
2. 出席者紹介
3. 学校評価
 - 1) 園の願い（理念や使命）説明 （主幹保育教諭）
 - 2) 意見交換 ＜改善点 園の長所 その他・・・＞

保護者の方より

- ・両親ともにフルタイムで働いているが、先生方に子ども・保護者共に支えてもらっている。
- ・園生活の中で子ども自身ができる事が増えその成長に驚く事が多い。
- ・入園した頃は子どもを預けている事を悩んでいたが、子どもが毎日楽しんで通う姿を見ていたらYMCAに預けて良かったと心から思っている。一緒に子どもを育ててもらい感謝している。
- ・異年齢保育は本当に良いと思う。3年間の関わりの中で子ども自身が成長していく姿がみれる。
- ・保育の中で勉強事がないのは問題ないと思う。子ども自身がやりたい事を教えてくれるので、習い事で出来るようにしている。
- ・幼児クラスで園外保育のおにぎり弁当は作る時間や片付けの面で助かる。
- ・ブログで日常の様子を知ることができるのは良い。春の特別保育中のブログも良かった。
- ・毎朝の検温が大変（乳幼児共に）。サーマルカメラなどが玄関にあれば、家で測れなかった時に対応できる。体表面温度なのであまり正確ではないとは聞かすが...
- ・スタジオアリスの写真で、画面で見た時よりも現物をみると少しではあるが画質が落ちているような気がする。
- ・駐車場側の門を通る時に、傘などをさしていたら、駐車場入り口のバーが当たりそうで危険。
- ・赤道側の門の鍵が扱いにくい。車道にも近いこともあり、手間取っている間に子どもが飛び出してしまうようで危険。
- ・掲示物などの連絡関係をアプリを使ったものにしてほしい。送り迎えの人が違っても家族みんなで共有できるので。
- ・幼児クラスになると、毎月の諸費の支払額が大きくなるので引き落としにしてほしい。おつりが無いようにとあるが、細かい金額なのでみんな大変だと言っている。
- ・来年の行事では子どもの成長が見れる嬉しい機会なので感染症対策などの工夫をして、両親共に参加できたら嬉しい。
- ・5歳児の余島キャンプができなかったのが、ぜひ1年生キャンプとして実施してほしい。
- ・季節の行事を取り入れてほしいと言っている方が保護者の中でいた。

園より

- ・行事（七夕や節分）については、キリスト教保育を大切にすると、日本の伝統行事を大切に伝えていくという点と両面から考え、七夕や節分を否定するのではなく伝えていくということを大切にしたい。
- ・安全面に関しては可能な範囲で対応する。
- ・行事の内容や参加の仕方は、感染症対策も工夫しながらコロナの状況に合わせて検討する。

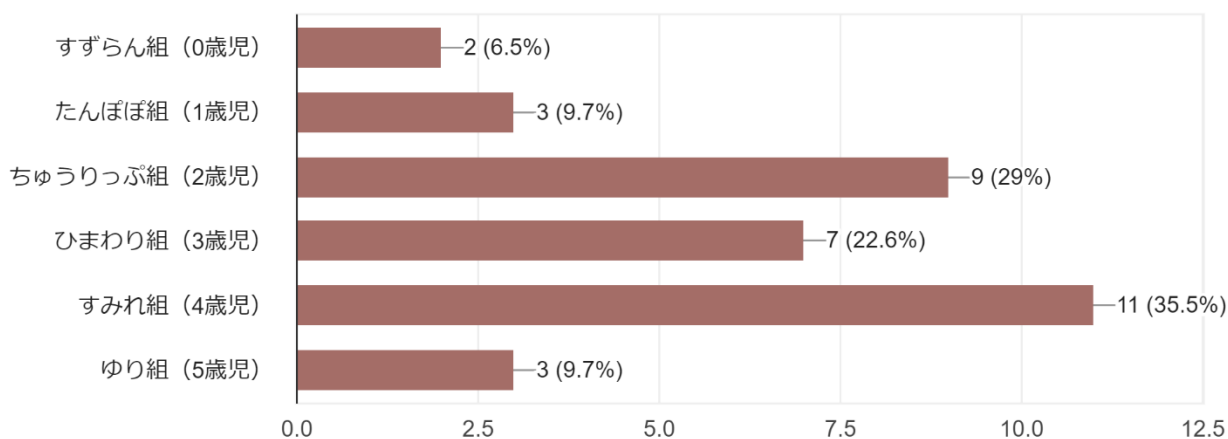
2020年度 幼保連携型認定こども園西宮YMCA保育園
学校（こども園）評価

1. 保護者アンケート

- コロナ禍のため、オンライン形式で保護者アンケートを実施
- 園だよりおよびメールを通じて、入力のご案内を行った
- 全園児保護者中 31/73 名の回答があった。

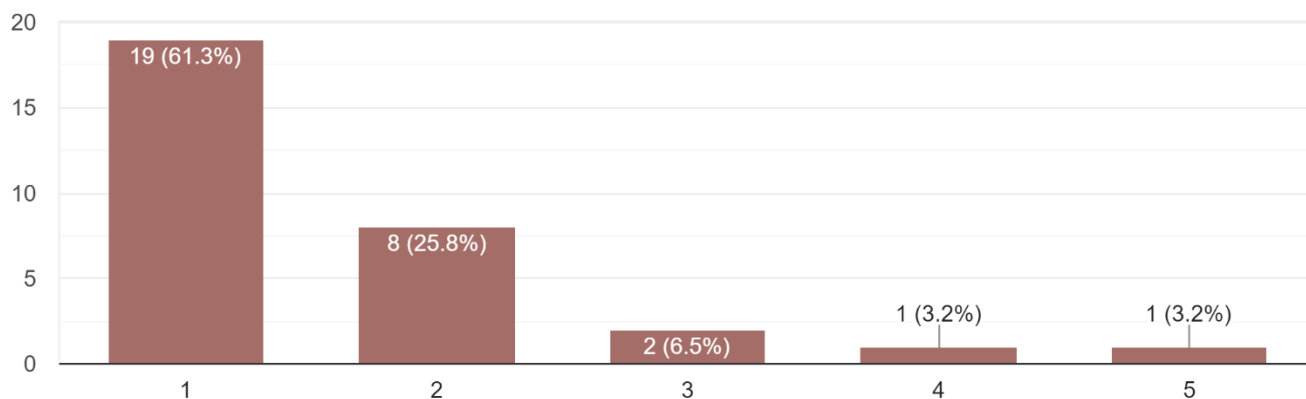
お子さんの年齢児

31 件の回答



園の保育内容について

31 件の回答



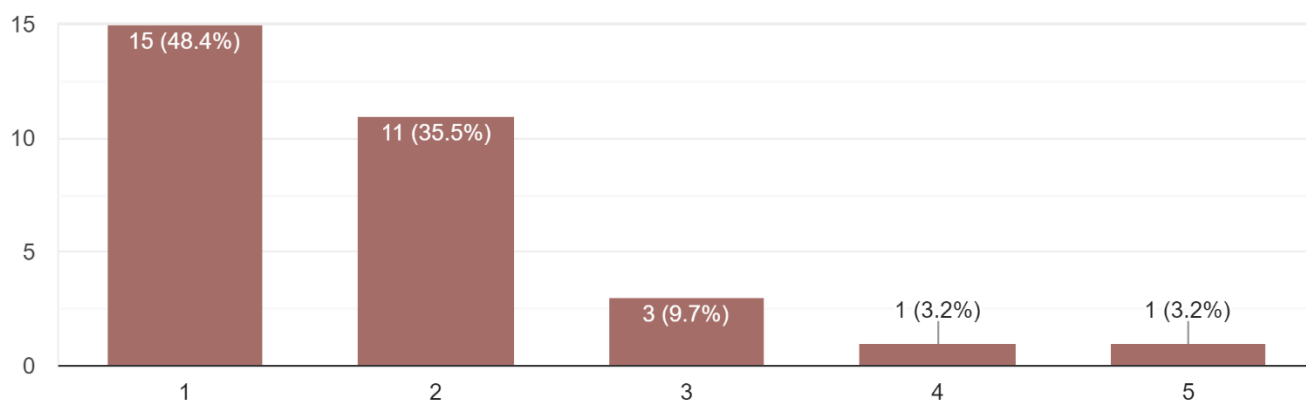
主な意見

- ✧ 外遊びをしっかりとらせてもらえる。
- ✧ 年長なので、ゆりタイムに椅子に座って学習等を取り入れてほしい
- ✧ 遠足、参観などイベントが少ない。

- ✧ 外遊びをたくさんさせていただいているようで、嬉しいです。
- ✧ 今まで他では経験できなかった事を経験させてもらう事ができたと思います。その分、この1年はコロナの影響でとても物足りなく感じる1年になってしまいました。が、その中でも先生方やお友達との繋がりにより強く感じる事ができた1年だったかとも思います。
- ✧ 日本の季節行事(節分・雛祭りなど)を取り入れていただけると嬉しいです。

園の環境について

31件の回答

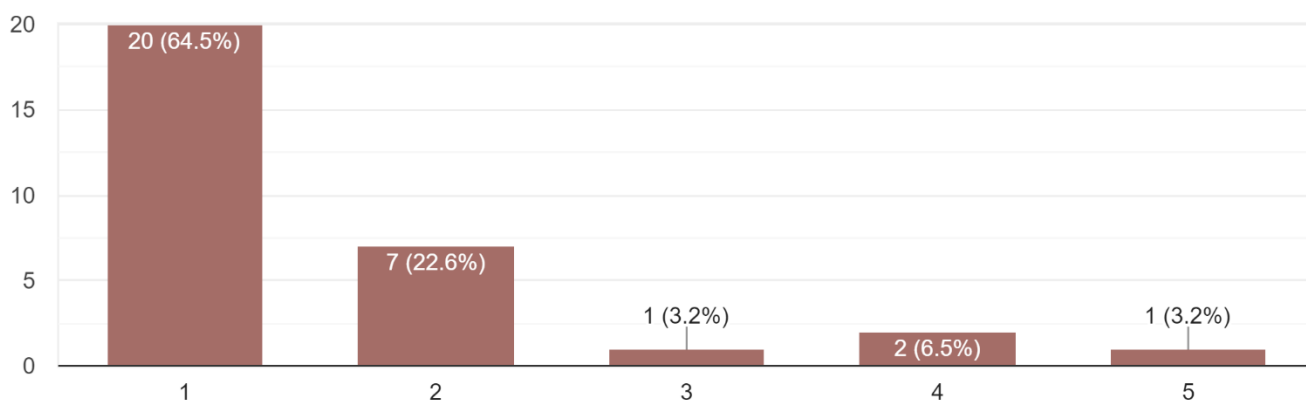


主な意見

- ✧ 床暖があって、暖かい
- ✧ 園庭もあり、近くに川もあり、前の道は、大通りでもないなので、Goodです。
- ✧ 人工芝が付着した時の洗濯が難しい…

園の職員について

31件の回答

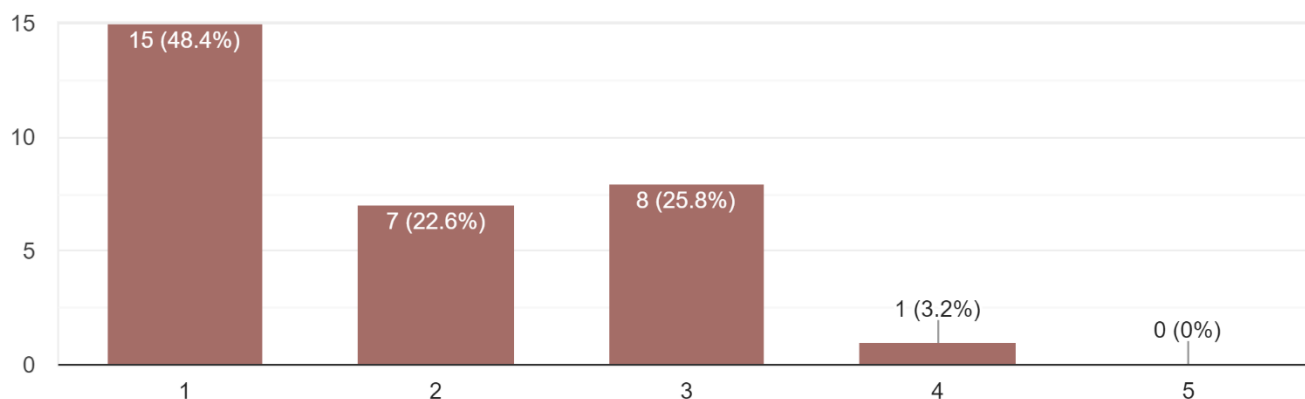


主な意見

- ✧ いつも穏やかで、ニコニコしておられて、こちらも癒される
- ✧ いつも子どもたちのことを考えて接してくれてとてもありがたいです。
- ✧ 優しく相談しやすい
- ✧ いつもよく対応していただいています。
- ✧ 皆さん子供達に真剣に向き合っていて毎日安心して保育園に送り出す事ができました。担任の先生でなくてもしっかりと様子を見てもらって。

園と保護者のつながりについて

31 件の回答

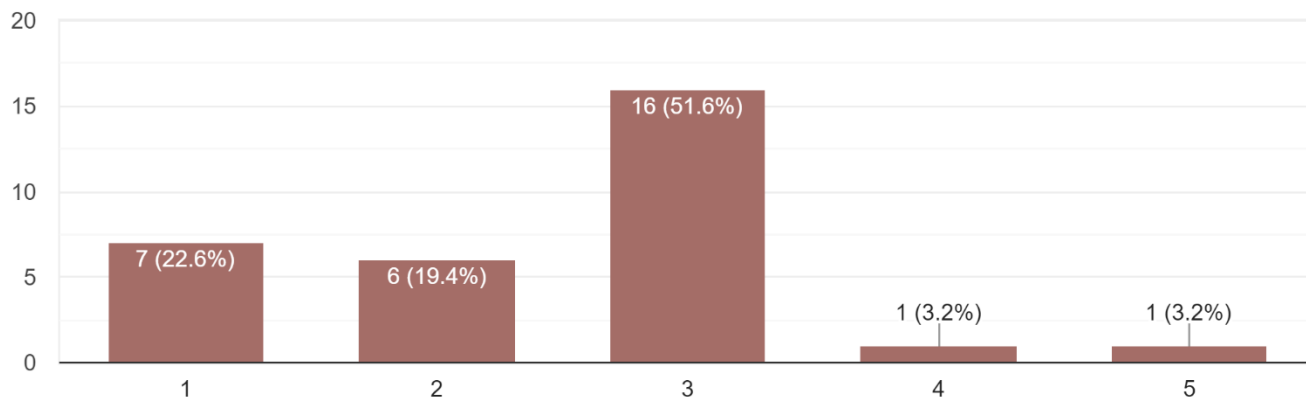


主な意見

- ✧ 子供の様子を良く教えてくれる
- ✧ 日々のできごとをお迎え時に教えていただきありがとうございます
- ✧ 参観が無いので、子供の様子が分からない。iPad や口頭でなく直接の保育が観たい。
- ✧ 園での様子を聞けたり、怪我をした時の対応などとても親切に対応してもらいました。。
- ✧ オンラインでの懇談会など工夫くださりありがとうございます。

園と地域のつながりについて

31件の回答



主な意見

- ✧ コロナの影響で判断できない
- ✧ コロナがあるので仕方ないですが、最後の園生活、残念でした。
- ✧ イベントなどが無い。

その他意見

- ✧ 就学に向けてお行儀等に関する簡単な指導があったらいいなあと思います。
- ✧ 季節の行事を出来れば取り入れて欲しい。
- ✧ いつも娘に寄り添っていただきありがとうございます。とても感謝しております。
- ✧ とてもいいクラスメイトに恵まれ、のびのび楽しく過ごせていて保護者としても良かったと思います。
- ✧ 産前産後に関して、保育短時間内の保育にする様に協力お願いするのはおかしいと思います。
- ✧ 園庭の通用門側で大縄をしているが、迎え時に通りにくい、危険と感ずることがあります。また、ボール遊びもボールが飛んできて危険な時があります。
- ✧ こどもと沢山の時間を一緒に過ごしてくださり、いつも本当にありがとうございます。
- ✧ オンラインで懇談会を開いてくださったりなど、保育の内容も試行錯誤して頂きありがとうございます。出来る範囲で今までの行事ができたらなあと望んでいます。
- ✧ 幼児クラスに向けて毎日の活動が連絡帳ではなく掲示になり、見落としがちです。プリント配布いただくか、メール等で配信いただきたいです。

2. 園自己評価

- 園・各グループの週の振り返りと計画については毎週の職員会で実施。
- 園・各グループの月の振り返りと安全点検と確認は毎月職員会で実施。
- 各グループの年間の保育活動の振り返りを各チームに分かれて実施。

- 園の年間の振り返りについては、園全体で3月に2回実施。
- 園の年間の振り返り時に保護者アンケートについての自己評価も実施。
- 園・各グループコロナ禍対応については、適宜実施。
- 職員の自己評価および個人面接については、年3回実施。

以上についての評価概要は下記の通り。

◇ 職員自己評価より

- 仕事への負担感は軽減傾向がみられる。コロナ禍での行事の減少などに加え互いの話し合いの機会の増加などにより、助け合いが進んだこと、また仕事の整理が進んでいることがあげられる。
- 働きやすさ・働き甲斐の指数は、経験年数が浅い職員ほど高い。先輩・管理職のフォローアップやポジティブなフィードバックが進んでいると考えられる。
- 年度目標などについては、グループダイナミクスについては取り組みの進捗が見られた。研修受講などについては機会の減少により進捗が弱いと感じる。
- コロナ禍の今後の見通しなどによる不安が見られる。

◇ 保育教育活動について（週・月・年）

- 4-5月は緊急事態宣言、家庭保育協力要請に伴い、園児数も減少し、計画の保育が行えなかった。特に前期は手探り状態での保育になった感がある。
- グループやチームでの保育が定着しつつある。担任だけでなく園全体で子ども一人一人を見ていく姿勢を引き続き大事にしたい。
- 乳児と幼児の交流が感染症禍で薄れるため、情報や育ちの共有に壁ができてくるように感じる。保育者通し間での情報共有や研修のありようの再検討が必要。
- 地域活動は「仕方がない」という発想でなく、その中で「できることを探す」姿勢が必要ではないか。
- 年度前期は、感染症対策と教育保育の両立というより、感染症対策をどこまですればいいかに戸惑いを覚えつつも、「子どもの今の育ちのために」の視点から、予定していた行事を補完するような園内活動、園内での交流を重視して行うことができた。
- 子どものマスク着用の是非やグループ間交流の中断など、状況にも奔走されたが、「安全管理」「子どもの成長」「保護者・職員の不安」の優先順序を明確にかかわるためマニュアル整備などを行い、状況に応じた保育を実施することができた。
- マスクを着けたままの保育は、情操や対人関係の育ちにネガティブに働くのではとの葛藤もあり、マウスシールドなど取り組んだが、状況に応じて後期はマスクをつけることとした。この評価は将来的に検討すべきである。
- 夏のプール実施については、大丈夫かどうかの戸惑いもあったが、科学的見地からのリスク分析し実施をしたが、身体成長の観点からもよかった。
- 年度内の公共交通機関を使う活動は見合わせたため、園外活動の範囲は狭まった。ただ近隣環境にも恵まれていることもあり散歩や歩ける範囲での活動が行えた。

- キャンプは中止したが、代わりに5歳児のみのお泊り保育を実施。自然体験は減少したが、じっくりと子どもと向き合い過ごすことができた。
 - 運動会は3-5歳児のみを実施。園児にとっても保護者に見てもらおう中で「成長の喜び」を分かち合う目的は達成された。
 - クリスマス礼拝は形態を変えてクラスごとに実施。保護者に自身の子どもの育ちの様子を見てもらえたが、乳児から幼児への成長の様子を感じてもらうことができなかった。
- ◇ 保護者アンケートを受けて
- 園の保育、対応については概ね好意的にとらえられているが、低い評価をされている方がいるこ、また回答されていない方も多いことから、こうしたアンケートの機会を取っていくことも大切であることやまた普段聞こえてこない意見もあることを意識していくことは必要である。
 - 産前産後の対応について、「協力」ということへの一斉的なアナウンスに難しさがあると感じる。様々な家庭環境があることを意識することが必要。
 - コロナ禍の影響で、保護者懇談会の取りやめ（オンラインでの実施）等により、保護者とのコミュニケーションの取り方が、送迎時の1対1もしくはこちらからの各種インフォメーションの片方向のものが中心となり、園全体と保護者全体、また保護者どおしのコミュニケーションが阻害されたことにより、園や保育への理解、また意見の共有に課題があったのではないか。
 - その中でIPADや壁新聞、特に動画を通じての活動共有は特に参観機会がない中よかったのではないか。また行事のDVDや映像配信もうれしかったと聞いている。
 - コロナ禍ということもあり、様々な取り組みについては好意的にとらえられている。しかし、言いにくい話や意見の仕方など、保護者との基礎的関係性が結べていないままの保護者もあり、こちらの意図も理解されにくいことが想定される。
 - コロナ禍への不安や心配も保護者個々によって違いがある中で、保護者の意見をくみ取りつつも何をすべきか考えていくことが必要である。
 - 保護者の意見をくみ取りつつも、園として何を大切にするのかぶれない姿勢が特にこうした混乱期には必要であろう。
 - 今後も、感染症の状況により、オンラインの利用や、HPやメールシステムなどICTの利用、また個人懇談などの実施等を、しっかりと行っていく必要がある。
- ◇ 感染症対策について
- 園庭開放や地域行事の実施を見合わせたが、園の状況（園庭が狭いこと、園児との距離が保ちにくいこと）を考えると致し方ないと思うが、HPや電話相談など今後への対応を強化する必要はある。
 - 感染症への科学的理解もどんどん変わっていくこともあり、対応を都度変えていったが、概ねそのことに対し、職員も保護者も理解をして協力を得られた。
 - マスコミ報道で、対策が過熱化する部分も見受けられたのでマニュアルを作成し、それに応じた活動が実施できたことが、職員や保護者の安心にもつながったのではないか。マニュアルは文部科学省の学校運営マニュアルに準拠したが大き

な問題はなかった。

- 今後も状況に応じた、マニュアルの整備や活動の在り方を都度検討していくことが必要とを感じる。

◇ 今後に向けて

- 「チーム保育」を掲げて5年目となるが、かなりチームでの協力、話しあい、評価などの形が整ってきつつある。乳児幼児の交流機会を感染症対策で減少することを鑑みて、保育者間の交流や研修を大事にするなど、育ちの連続性を意識した研修をも行うなど研鑽の意識を持つことが必要である。
- 保育については、状況に応じて柔軟に行っていくこと、保護者に対してはコミュニケーションの機会を取るなど、関わり合いの機会を提供できるよう意識することが感染症下では特に必要である。ただ園としての考えや大切にしたいことなどもちゃんと伝えられるような工夫も併せて必要である。
- 保護者の就労状況や生活スタイル、コミュニケーションのありようも多様化しているので、こちらの発信への意識を持つことと共に多様性を鑑みた様々な関わり合いの方法を常々考えていく必要がある。
- 地域交流というより地域とのつながりが「できる・感じられる」取り組みを検討していくことが必要である。

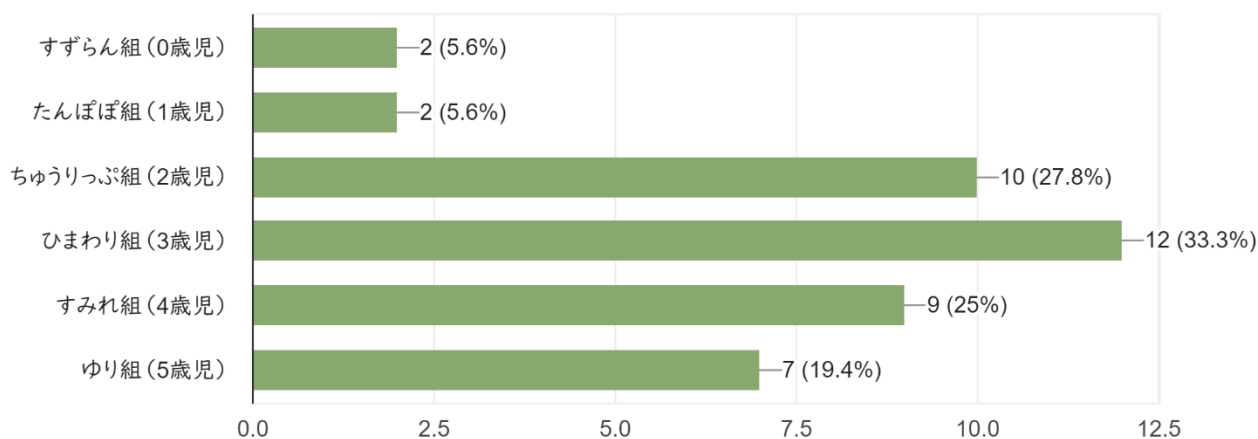
2020年度 幼保連携型認定こども園西宮つとがわYMCA保育園
学校（こども園）評価

1. 保護者アンケート

- コロナ禍のため、オンライン形式で保護者アンケートを実施
- 園だよりおよびメールを通じて、入力のご案内を行った
- 全園児保護者中 36/78 名の回答があった。

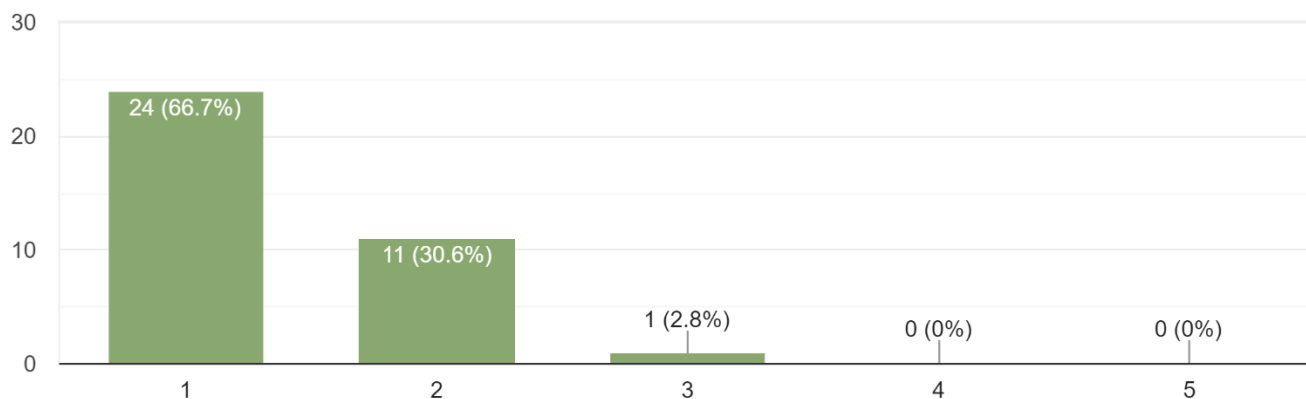
お子さんの在籍

36 件の回答



園の保育内容について

36 件の回答



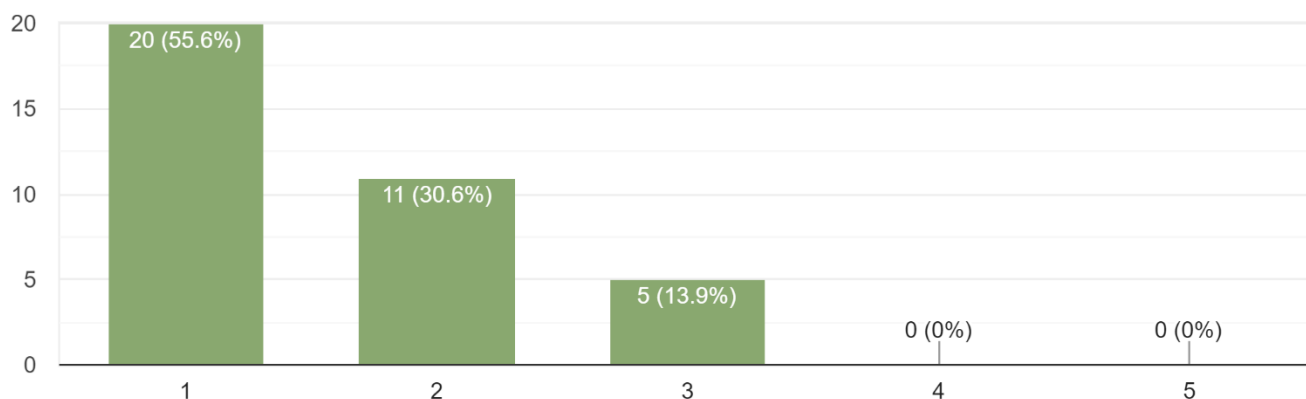
主な意見

- ☆ 1人1人をよく見てくれており、またその子の個性ややりたいことを尊重してくれている。
- ☆ 家ではできない活動(どろんこ、ボディペイント、感触あそびなど)がありがたい。

- ✧ コロナ対策もあり通常とは違う中でも工夫して子供たちが色々な経験をできてよかった。
- ✧ いつも子どもたちを丁寧に見ていただき、感謝。
- ✧ 異年齢との関わりをもつバディという仕組みが良い影響を与えてくれる。
- ✧ 子どものことをよく見てくれていて、些細なことでも報告してくれる。
- ✧ 特に給食内容が良く、ほとんど手作りなのもありがたい。
- ✧ 植物や生き物を育てたり、食育も楽しそう、子供が色々感じている。
- ✧ 先生方が子供に寄り添っていて、小さな問題がおきた際もすぐに対応して頂いて気持ちが落ち着きました。安心して子供をお任せし、働けるので感謝。
- ✧ 園全体に理念や道徳観があるところ。根っこを育てるという保育園の理念の木のイラストみたいなのがあったかと思いますが、目指す方向性が園全体に共有されていると感じていて、素晴らしい。ピンクシャツデーの取り組みや、祈祷週や、肌の色の違う赤ちゃんのお人形があったり等々、保育園にいながらに子どもに多様性を感じている。
- ✧ 色々なことに挑戦させてもらっている。コロナウィルスの影響で園外活動が従来通りできなかったことが、安全を考えながらもできる限りのことをして頂いて有難い限りです。
- ✧ 普段できないような体験をたくさんさせてくださる所に感謝

園の環境について

36 件の回答

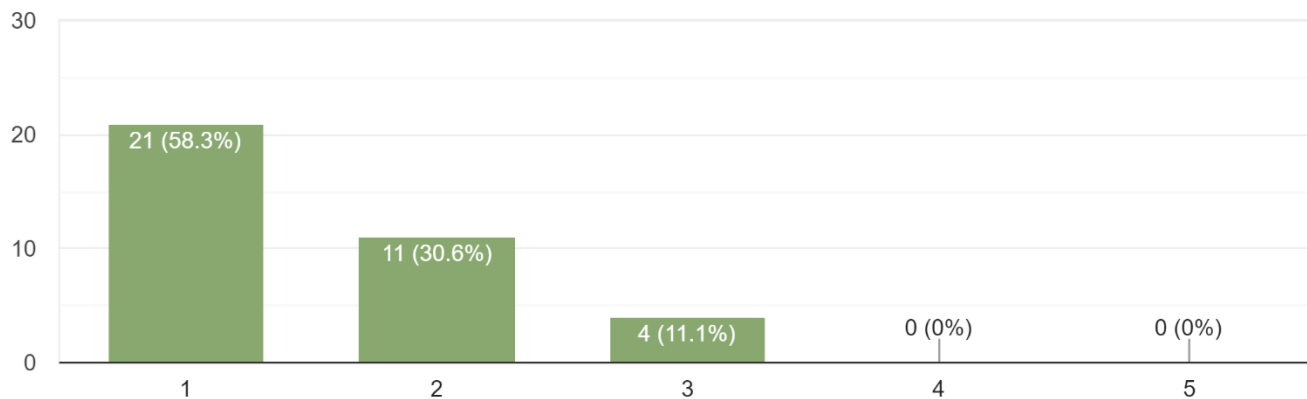


主な意見

- ✧ 感染対策にも気遣って環境を整えていただいていると思う。
- ✧ 大型トラックが、園の前を頻繁に通行することが怖い。
- ✧ 施設は狭いが、周囲の公園等に出ているのでいいと思う。
- ✧ 園内とても綺麗に保たれていて、ランチルームのテーブルのお花にとっても癒される。
- ✧ いつも保育園が綺麗と感じる。

園の職員について

36 件の回答

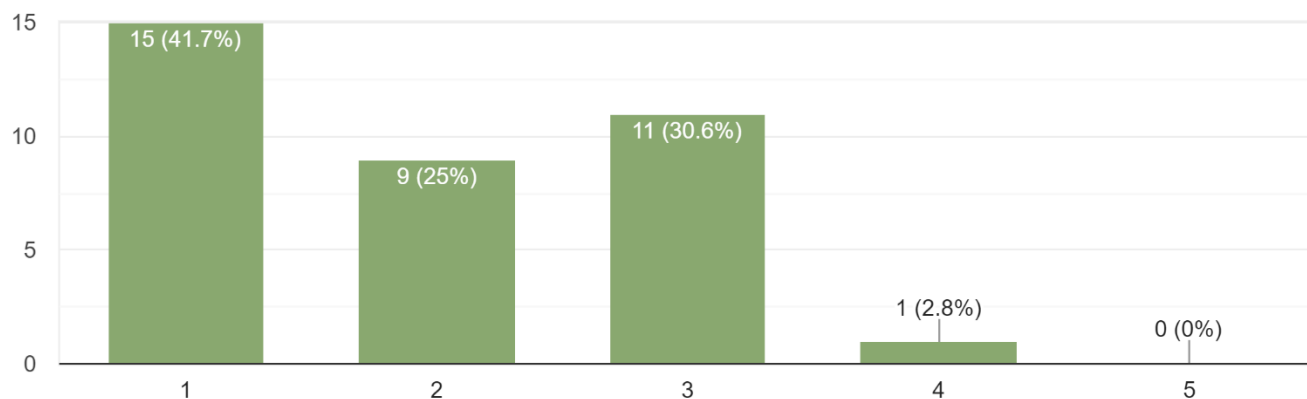


主な意見

- ✧ 先生たちみんな明るく、どの先生にも子供の様子など話しやすい。
- ✧ 先生方に子どもが大事にされていることを実感できている。
- ✧ 日中の子供の様子を聞くことができるので安心できます。保護者の声も聞いてもらい有難い。
- ✧ どの先生もいつもよく見ていただいて、本人も園生活を楽しんでいる。
- ✧ 子供への声かけなどが、「さりげないのにとても上手」な先生方が多いと思う。
- ✧ 子供の様子をよくお話頂いて安心。どの先生も笑顔で嬉しい。
- ✧ 先生方が大切にしてくれているのが感じられてありがたい。

園の保護者とのつながりについて

36 件の回答

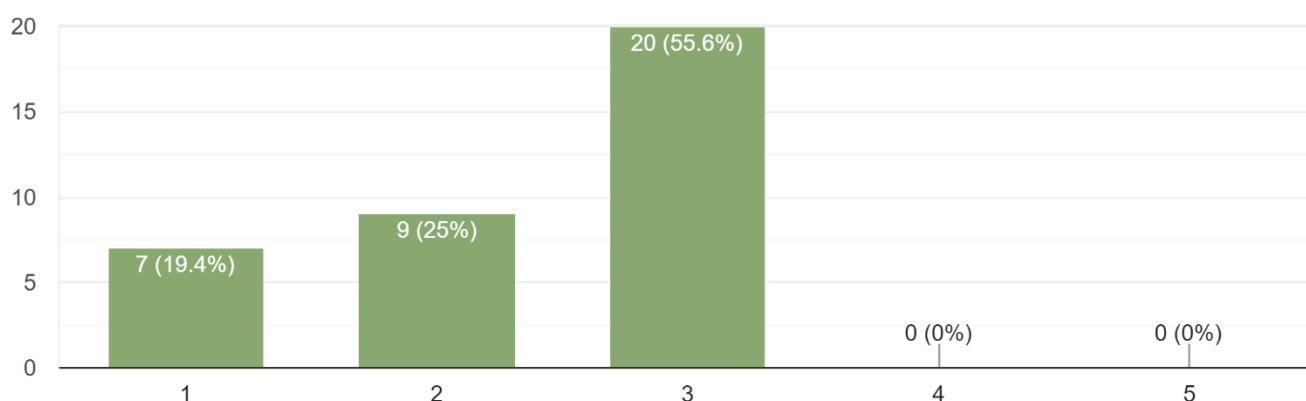


主な意見

- ✧ 送迎時などに子供の様子を伝えてくれたり、声をかけてくれたりしてつながりを持てた。
- ✧ 同じ担任でも声をかけてくれる先生には偏りがある。
- ✧ 保護者目線はあまりない。先生にめちゃくちゃ気を遣うときがある。
- ✧ お迎え時間が違うため、同クラスの保護者と繋がっていない
- ✧ zoom でグループ懇談をするなど、保護者とも関わって頂けて嬉しい。
- ✧ お迎えの時に、先生方が今日の出来事を詳しく教えて下さり、よく見てもらっていると感謝。
- ✧ コロナ中でできない事だらけで、繋がりやはり薄れた気がする
- ✧ コロナ中でも zoom で繋がれてよかったけど、やはり行事がほとんど取り止めになったり、規制がかかりつながりは薄れた気がする。
- ✧ 何でも相談できる。

園と地域とのつながりについて

36 件の回答



主な意見

- ✧ 今年は仕方がない1年が、今後は例年のような小学校との交流もできるようになったらいい。
- ✧ コロナもあってか、地域とのつながりは特に分らない。
- ✧ 去年は地域とのつながりは難しかったと思いますが、また近所の方に手作りの何かをお渡ししたりそんな機会が子供たちの心にも良いと思うので、状況が変われば…と願う。
- ✧ コロナの影響もあって致し方ないが、地域との交流がもっとあれば良いと思う。
- ✧ コロナ渦中で地域とのつながりは前よりも感じられなかった
- ✧ 園と地域との繋がりについては分らない。

その他意見

- ✧ 制約があった中でも色んな工夫をして下さったおかげで子供も園生活最後の1年を楽しめた。
- ✧ 個人懇談会やクラス懇談会は、ZOOM のため、何でも話してください、どうぞ！という感じで戸惑いました。
- ✧ 子供はよく見てくれますが、子供第一優先で働く保護者にはあまり優しくないような気がします。

- ✧ 書類関係について、取りに行かなければいけないと分からないことがあったので、取りに行く旨掲示してもらえると助かる。
- ✧ 作品の持ち帰りについても、その日の都合があるので、事前に期限を知らせてほしい。「今日持って帰ってください」は難しい時がある。
- ✧ いつも壁新聞やブログを通じて、園での生活がよくわかり、楽しみの一つとなっている。その写真が販売されていないのが残念。
- ✧ 壁新聞やブログの写真も買えるようにしてほしい。
- ✧ 丁寧に子ども達を見ていただき、また、状況に応じて、保護者や子ども達の意見を取り入れて保育を行って下さり感謝。
- ✧ 問題意識や気づきがもっとあったらと思う。保育園側から一方的な感じがある。
- ✧ コロナ禍でイベントがなくなり、ブログの更新頻度も低下するなど親としては残念な1年でしたが、子供が毎日楽しく元気に保育園に通ってくれたことはすべての保育園の皆様のおかげと思う。
- ✧ 今月で卒園ですが、また子どもを預けることになったらこの保育園へ通わせたいと思う。

2. 園自己評価

- 園・各グループの週の振り返りと計画については毎週の職員会で実施。
- 園・各グループの月の振り返りと安全点検と確認は毎月職員会で実施。
- 各グループの年間の保育活動の振り返りを各チームに分かれて実施。
- 園の年間の振り返りについては、園全体で3月に2回実施。
- 園の年間の振り返り時に保護者アンケートについての自己評価も実施。
- 園・各グループコロナ禍対応については、適宜実施。
- 職員の自己評価および個人面接については、年3回実施。

以上についての評価概要は下記の通り。

- ✧ 職員自己評価より
 - いきなり緊急事態宣言で、十分な保育の在り方を共有することができないまま一年が始まった。子どもにとっても大人にとっても6月から仕切り直しでスタートしたので例年より落ち着きがない部分もあった。
 - 仕事量が相対的に多いと感じる。また幼児乳児など担当による量の格差はまだ大きいと感じる。
 - 職員間のコミュニケーションは増えており、ポジティブな影響が出ているとは感じる。
 - チーム間や担当内でのコミュニケーションは機会も内容もさらに向上する必要があると感じる。
- ✧ 保育教育活動について（週・月・年）
 - 4-5月は緊急事態宣言、家庭保育協力要請に伴い、園児数も減少し、計画の保育が行えなかった。
 - 年度前期は、感染症対策と教育保育の両立というより、感染症対策をどこまですればいいかに戸惑いを覚えつつも、「子どもの今の育ちのために」の視点から、予

定していた行事を補完するような園内活動、園内での交流を重視して行うことができた。

- 子どものマスク着用の是非やグループ間交流の中断など、状況にも奔走されたが、「安全管理」「子どもの成長」「保護者・職員の不安」の優先順序を明確にかかわるためマニュアル整備などを行い、状況に応じた保育を実施することができた。
- マスクを着けたままの保育は、情操や対人関係の育ちにネガティブに働くのではとの葛藤もあり、マウスシールドなど取り組んだが、状況に応じて後期はマスクをつけることとした。この評価は将来的に検討すべきである。
- 夏のプール実施については、大丈夫かどうかの戸惑いもあったが、科学的見地からのリスク分析し実施をしたが、身体成長の観点からもよかった。
- 年度内の公共交通機関を使う活動は見合わせたため、園外活動の範囲は狭まった。ただ近隣環境にも恵まれていることもあり散歩や歩ける範囲での活動が行えた。
- キャンプは中止したが、代わりに5歳児のみのお泊り保育を実施。自然体験は減少したが、じっくりと子どもと向き合い過ごすことができた。
- 運動会は3-5歳児のみを実施。園児にとっても保護者に見てもらおう中で「成長の喜び」を分かち合う目的は達成された。
- クリスマス礼拝は形態を変えてクラスごとに実施。保護者に自身の子どもの育ちの様子を見てもらえたが、乳児から幼児への成長の様子を感じてもらうことができなかった。

◇ 保護者アンケートを受けて

- 園の活動、特に保育や子どもへのかかわりについては、かなり高い評価を得ている。
- 一方、保護者へのかかわりについては、職員の個人差やまた園から抑圧的に感じている意見も上がっていることから、個々へのコミュニケーションや情報発信の在り方には課題があると認められる。
- オンラインでの保護者交流等の機会も取ったが、まだまだ職員側も慣れていないことや、職員によってもコミュニケーションの取り方も稚拙な部分もあることを留意して、他者の視点に立った人間関係のありようなどの学びも必要である。
- 感染症対策下では保護者とのかかわりの難しさが顕著にはなった。伝達だけではなく、「つながり」を意識したかかわりのありよう、保護者と共感を持てる場面等を考えていくことが必要と感じる。
- 地域交流はその意義を考え、子どもにとっての何らかの機会の検討は必要。
- 今後も、感染症の状況により、オンラインの利用や、HPやメールシステムなどICTの利用、また個人懇談などの実施等を、しっかりと行っていく必要がある。

◇ 感染症対策について

- 園庭開放や地域行事の実施を見合わせたが、園の状況（園庭が狭いこと、園児との距離が保ちにくいこと）を考えると致し方ないと思うが、HPや電話相談な

ど今後への対応を強化する必要がある。

- 感染症への科学的理解もどんどん変わっていくこともあり、対応を都度変えていったが、概ねそのことに対し、職員も保護者も理解をして協力を得られた。
- マスコミ報道で、対策が過熱化する部分も見受けられたのでマニュアルを作成し、それに応じた活動が実施できたことが、職員や保護者の安心にもつながったのではないかと。マニュアルは文部科学省の学校運営マニュアルに準拠したが大きな問題はなかった。
- 今後も状況に応じた、マニュアルの整備や活動の在り方を都度検討していくことが必要と感じる。

◇ 今後に向けて

- 「チーム保育」を掲げて5年目となるが、かなりチームでの協力、話しあい、評価などの形が整ってきつつある。今後は内部研修など、テーマをもって先への目標と見通しに対しての研鑽の意識を持つことが必要である。
- 保育については、状況に応じて柔軟に行っていくこと、保護者に対しては関わり合いの機会を提供できるよう意識することが、感染症下では必要である。
- 保護者の就労状況や生活スタイル、コミュニケーションのありようも多様化しているので、こちらの発信への意識を持つことと共に多様性を鑑みた様々な関わり合いの方法を常々考えていく必要がある。
- 地域との交流を担保できるものの検討が必要である。